



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月7日

上場会社名 株式会社九州リースサービス 上場取引所 東・福
 コード番号 8596 URL <http://www.k-lease.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 磯山 誠二
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員総合企画部長 (氏名) 小嶋 良一 (TEL) (092) 431-2530
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	8,553	43.4	1,190	40.5	1,248	50.5	849	49.8
2020年3月期第1四半期	5,965	13.5	847	3.2	829	△2.3	566	△4.6

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 1,030百万円(77.9%) 2020年3月期第1四半期 579百万円(△12.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	37.46	—
2020年3月期第1四半期	25.10	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	141,578	30,571	21.5
2020年3月期	144,444	29,741	20.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 30,427百万円 2020年3月期 29,591百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	7.00	—	8.00	15.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	7.50	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,000	3.2	3,100	△9.6	3,200	△9.6	2,100	△11.6	92.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正につきましては、本日(2020年8月7日)公表いたしました「2021年3月期 連結業績予想の公表に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2021年3月期1Q	25,952,374株	2020年3月期	25,952,374株
------------	-------------	----------	-------------

- ② 期末自己株式数

2021年3月期1Q	3,284,004株	2020年3月期	3,284,004株
------------	------------	----------	------------

- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2021年3月期1Q	22,668,370株	2020年3月期1Q	22,580,370株
------------	-------------	------------	-------------

- (注) 自己株式数については、「役員株式給付信託(BBT)」及び「従業員株式給付信託(J-ESOP)」制度に係る信託財産として、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が所有している当社株式を含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におきましては、新型コロナウイルス感染症が世界的に大流行し、日本国内においても、政府より4月上旬から5月下旬にかけて新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言が発出され、様々な施設に対する休業や営業時間短縮の要請、不要不急の外出自粛などにより、日本国内の経済・社会活動及び国民生活に多大な影響を及ぼしました。

5月25日に政府より緊急事態が終了した旨が宣言され、各種イベントの開催制限や県をまたぐ移動等の外出自粛が段階的に緩和されていますが、現時点において新型コロナウイルス感染症の収束の時期を予測することは困難であり、経済・社会活動は先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の下、当社グループでは、当期(2021年3月期)が最終年度となる中期経営計画「Evolution for Next ~ お客様と共に、目指す未来へ」の総仕上げとして、「企業力強化」と「事業領域の拡大」に努めております。

当第1四半期連結累計期間における経営成績は、大口の不動産売却により売上高は8,553百万円(前年同期比43.4%増)、営業利益は1,190百万円(前年同期比40.5%増)、経常利益は1,248百万円(前年同期比50.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は849百万円(前年同期比49.8%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントを従来の「リース・割賦」「ファイナンス」「不動産」「フィービジネス」の4区分から「リース・割賦」「ファイナンス」「不動産」「フィービジネス」「環境ソリューション」の5区分に変更しております。

この変更は、SDGsに貢献する環境関連ビジネスへの取組を踏まえたものであり、従来その他に区分していた売電事業と「リース・割賦」に含まれていたLEDレンタル事業を「環境ソリューション」に変更しております。

これに伴い前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

①リース・割賦

売上高は4,083百万円(前年同期比1.4%減)となりましたが、与信関係費用の減少により営業利益は357百万円(前年同期比35.1%増)となりました。なお、営業資産残高は67,775百万円(前期末比0.1%減)となりました。

②ファイナンス

売上高は331百万円(前年同期比11.0%減)、営業利益は209百万円(前年同期比5.8%減)となりました。なお、営業資産残高は23,649百万円(前期末比6.5%減)となりました。

③不動産

売上高は3,749百万円(前年同期比265.5%増)、営業利益は634百万円(前年同期比69.5%増)となりました。なお、営業資産残高は32,804百万円(前期末比5.1%減)となりました。

④フィービジネス

保険代理店収入が減少したことにより、売上高は112百万円(前年同期比21.0%減)、営業利益は49百万円(前年同期比25.4%減)となりました。

⑤環境ソリューション

売上高は256百万円(前年同期比2.7%減)、売電事業における売上原価減少により営業利益は58百万円(前年同期比9.4%増)となりました。なお、営業資産残高は4,488百万円(前期末比1.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は141,578百万円(前期末比2.0%減)と前連結会計年度末に比べ2,865百万円の減少となりました。これは主に、現金及び預金の増加909百万円、賃貸不動産の増加897百万円、販売用不動産の減少2,658百万円、営業貸付金の減少1,646百万円などです。

負債合計は111,006百万円(前期末比3.2%減)と前連結会計年度末に比べ3,696百万円の減少となりました。これは主に借入金及び社債の減少2,753百万円などです。

純資産合計は30,571百万円(前期末比2.8%増)と前連結会計年度末に比べ830百万円増加となりました。これは主に利益剰余金の増加659百万円、その他有価証券評価差額金の増加176百万円などです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月15日の2020年3月期決算発表時に、新型コロナウイルス感染症が当社グループの業績に与える影響に未確定要素が多いことから、未定としておりました連結業績予想につきまして、緊急事態宣言の解除に伴い段階的に経済・社会活動が再開され、また、政府や日本銀行の諸施策の実行が、一定程度景気の下支えになると考えられることなどから、現時点で入手可能な情報に基づき連結業績予想を算定いたしました。

2021年3月期の連結業績予想は、第2四半期以降も一定程度は新型コロナウイルス感染症による影響を受けることを前提として、売上高 26,000百万円(前期比3.2%増)、営業利益 3,100百万円(前期比9.6%減)、経常利益 3,200百万円(前期比9.6%減)、親会社株主に帰属する当期純利益 2,100百万円(前期比11.6%減)、1株当たり当期純利益 92円64銭を見込んでおります。

上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算定したものであり、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、新型コロナウイルス感染症の収束時期等、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,327	6,236
受取手形及び売掛金	87	117
割賦債権	16,090	15,404
リース債権及びリース投資資産	48,984	49,739
営業貸付金	25,296	23,649
賃貸料等未収入金	150	99
販売用不動産	7,470	4,812
その他	829	427
貸倒引当金	△253	△234
流動資産合計	103,983	100,252
固定資産		
有形固定資産		
賃貸資産		
賃貸不動産（純額）	26,944	27,841
その他（純額）	3,582	3,480
賃貸資産合計	30,526	31,322
その他の営業資産	3,721	3,639
社用資産	706	697
有形固定資産合計	34,954	35,659
無形固定資産	671	627
投資その他の資産		
投資有価証券	3,877	4,093
その他	958	945
投資その他の資産合計	4,835	5,038
固定資産合計	40,461	41,326
資産合計	144,444	141,578

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,567	1,533
短期借入金	30,034	29,414
1年内償還予定の社債	434	266
未払法人税等	572	266
引当金	278	229
その他	4,163	4,610
流動負債合計	38,048	36,321
固定負債		
社債	300	250
長期借入金	64,319	62,403
引当金	19	20
退職給付に係る負債	399	369
資産除去債務	334	334
その他	11,280	11,305
固定負債合計	76,654	74,685
負債合計	114,702	111,006
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,933	2,933
資本剰余金	835	835
利益剰余金	25,589	26,248
自己株式	△1,017	△1,017
株主資本合計	28,340	28,999
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,251	1,428
繰延ヘッジ損益	△0	△0
その他の包括利益累計額合計	1,250	1,427
非支配株主持分	150	144
純資産合計	29,741	30,571
負債純資産合計	144,444	141,578

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	5,965	8,553
売上原価	4,415	6,760
売上総利益	1,550	1,793
販売費及び一般管理費	703	603
営業利益	847	1,190
営業外収益		
受取配当金	25	23
投資有価証券売却益	—	49
為替差益	—	22
その他	6	3
営業外収益合計	32	98
営業外費用		
支払利息	20	15
持分法による投資損失	3	5
為替差損	12	—
その他	13	18
営業外費用合計	49	40
経常利益	829	1,248
税金等調整前四半期純利益	829	1,248
法人税、住民税及び事業税	223	255
法人税等調整額	32	139
法人税等合計	255	395
四半期純利益	574	853
非支配株主に帰属する四半期純利益	7	4
親会社株主に帰属する四半期純利益	566	849

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
四半期純利益	574	853
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	176
繰延ヘッジ損益	0	0
その他の包括利益合計	4	176
四半期包括利益	579	1,030
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	571	1,025
非支配株主に係る四半期包括利益	7	4

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引)

当社は、取締役及び監査役(社外取締役及び社外監査役を除く)に対する業績連動型株式報酬制度「役員株式給付信託(BBT)」及び一定の要件を満たした従業員に当社株式を給付するインセンティブプラン「従業員株式給付信託(J-ESOP)」を導入しております(以下、合わせて「本信託」という。)

本信託が所有する当社株式は、四半期連結貸借対照表の純資産の部において自己株式として表示しており、当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度末において324百万円、1,093,700株、当第1四半期連結会計期間末において324百万円、1,093,700株であります。

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症による経済への影響は、当社グループの債権の信用リスクに一定の影響があると認識しております。緊急事態宣言解除後、経済・社会活動が本格化する第2四半期以降につきましても第2波の感染拡大が懸念されるなど不透明な状況が継続しておりますが、政府・自治体等の経済対策や金融支援等の下支えにより、当連結会計年度末に向けて景気が徐々に回復すると想定しております。このような状況下において貸倒引当金の計上は、現時点で見積りに影響を及ぼす入手可能な情報を考慮して回収不能見込額を算定しております。これらの見積りには不確実性があり、新型コロナウイルス感染症の状況や経済への影響が変化した場合には損失額が増減する可能性があります。なお、前事業年度有価証券報告書で記載した内容から重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	リース・ 割賦	ファイナ ンス	不動産	フィー ビジネス	環境 ソリュー ション	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	4,141	372	1,025	142	263	5,946	19	5,965	—	5,965
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	4,141	372	1,025	142	263	5,946	19	5,965	—	5,965
セグメント利益	264	222	374	66	53	980	2	983	△136	847

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物品販売等を含んでおります。

2. セグメント利益調整額△136百万円は、全社費用であり報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	リース・ 割賦	ファイナ ンス	不動産	フィー ビジネス	環境 ソリュー ション	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	4,083	331	3,749	112	256	8,533	19	8,553	—	8,553
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	4,083	331	3,749	112	256	8,533	19	8,553	—	8,553
セグメント利益	357	209	634	49	58	1,308	1	1,310	△120	1,190

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物品販売等を含んでおります。

2. セグメント利益調整額△120百万円は、全社費用であり報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より報告セグメントを従来の「リース・割賦」「ファイナンス」「不動産」「フィービジネス」の4区分から「リース・割賦」「ファイナンス」「不動産」「フィービジネス」「環境ソリューション」の5区分に変更しております。

この変更は、SDGsに貢献する環境関連ビジネスへの取組を踏まえたものであり、従来その他に区分していた売電事業と「リース・割賦」に含まれていたLEDレンタル事業を「環境ソリューション」に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法に基づき作成したものであります。

3. 補足情報

営業資産残高(連結)

セグメントの名称		前連結会計年度末 (2020年3月31日)		当第1四半期 連結会計期間末 (2020年6月30日)	
		期末残高 (百万円)	構成比 (%)	期末残高 (百万円)	構成比 (%)
リース・割賦	ファイナンス・リース	48,138	36.4	48,890	38.0
	オペレーティング・リース	3,582	2.7	3,480	2.7
	リース計	51,721	39.1	52,371	40.7
	割賦販売	16,090	12.2	15,404	11.9
	リース・割賦計	67,811	51.3	67,775	52.6
ファイナンス		25,296	19.1	23,649	18.4
不動産	オペレーティング・リース	26,944	20.4	27,841	21.6
	その他	7,620	5.7	4,962	3.9
	不動産計	34,564	26.1	32,804	25.5
環境ソリューション		4,566	3.5	4,488	3.5
合計		132,239	100.0	128,717	100.0